

**今年も母校生徒たちの後ろには！**

● 巨大旗の下で応援を！

先ほど家元宅（茶道：江戸千家溜白流、川上溜白家元）での夏の直門総会から戻りメールを開くと、浦高同窓生で元野球部の山田 稔さんから次のようなメールが届いていました。

\* \*

◆ 「浦高百年の森」平成28年度第1回現地活動と「野球部三回戦敗退」

おはようございます。

来週予定の百年の森記念植樹の前座への参加はやはり厳しいようで、今回は欠席とさせていただきます。11月20日の記念植樹には参加できるように調整しますので、よろしくお祈いします。

ついでに、昨日第98回全国高等野球選手権埼玉県大会の三回戦に母校浦和高校が2回戦を突破して、Dシードの桶川高校と対戦しました。

初回2本の単打で先取点を取りながら、以降投手が厳しいところを突きすぎて四球の連発となった3回に大量5点を奪われて逆転負け。9回最後の攻撃まで現役が頑張りましたが、1-7での無念の敗戦となりました。

浦高側の観客は相変わらず多くて、毎年驚いています。高齢の先輩方や後輩と思われる方々も大勢観戦しに来ていて、相変わらず歴史と伝統の重みを感じます。今朝の読売でも三塁側にたなびく、大きな校旗の話題が掲載されていました。今年も、ラグビー部の54年ぶりの花園出場に続けと！応援しましたが、また来年に持ち越しです。同期の皆さん、今後も応援よろしくです！

\* \*

今朝斜め読みをしていた新聞を確認すると、確かに下記の記事が掲載されていました。

浦和の応援団OB会が2010年に作製した6代目。毎年、球場で掲げられている。長さ約6メートルの棒に取り付けた旗を支えるのは同校の応援団員。総重量は約60キロで、風にたなびくとさらに重くなり、団員は汗だくになって懸命に姿勢を保った。

応援団OB会事務局長の大矢宗樹さん(42)は「この旗を見て、保護者や野球部OBなどが集まるスタンド」

読売新聞地域版【埼玉】  
2016年7月17日朝刊

スポーツに疎い私ですが、一応、母校の活躍は期待しながら記事を眺めています。今年は…。

◇ ◇

■ 7月13日 市営浦和球場 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
新座	0	0	0	0	0	2	0	0		2
浦和	2	1	2	1	0	0	2	1X		9X

【投手】 新座：小林

浦和：鈴木→小野寺→大木

◇ ◇

■ 7月16日 県営大宮公園野球場 3回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
浦和	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
桶川	0	1	5	0	1	0	0	0	X	7

【投手】 浦和：鈴木→小野寺→大木→小嶋

桶川：小川→佐藤

◇ ◇

◆ 巨大旗で一体感 【読売新聞・地域版7月17日】

観客とチームとの一体感を高めようと、浦和のスタンドの最上段に、校章が描かれた縦約3・5m、横5mの巨大なえんじ色の応援団旗が掲げられ、観客の目をひいた。

浦和の応援団OB会が2010年に作製した6代目。毎年、球場で掲げられている。長さ約6mの棒に取り付けた旗を支えるのは同校の応援団員。総重量は約60キロで、風にたなびくとさらに重くなり、団員は汗だくになって懸命に姿勢を保った。

応援団OB会事務局長の大矢宗樹さん(42)は「この旗を見て、保護者や野球部OBなどが集まるスタンドが一つになれるようにしたい」と話した。

\* \*

冒頭の山田さんは、「みんなで応援することに異議があるんだ！」と毎年毎試合(?)応援に…。凄いい!!

スタンド

巨大旗で一体感



「観客とチームとの一体感を高めようと、浦和のスタンドの最上段に、校章が描かれた縦約3・5m、横約5mの巨大なえんじ色の応援団旗が掲げられ、観客の目をひいた。」

浦和のスタンドに掲げられた応援団旗（県営大宮球場で）